

閉会挨拶

根室農業改良普及センター北根室支所 支所長 並川 幹広

酪農セミナーの閉会にあたりご挨拶申し上げます。

帯広畜産大学の石井先生におかれましては、何かと多忙のところ遠くから足を運んで頂き、講師を勤めて頂きました。本当にありがとうございました。

さて、本日のセミナーは「搾乳後継牛の安定的確保を目指して」ということで開催させて頂きました。おかげさまで、本日の参加者は 141 名と本当に大勢の方に参加を頂きました。実は、申込み締め切り数日前で、すでに 120 名以上もの申込みがありました。本日お借りした会場の広さやテーブルと椅子の数など、数日前からどのように対応しようかと苦慮していたところです。

申込みを受けておいて、断るようなことにはなりませんので、何とか椅子を確保するなど対応して開催することとしました。参加して頂いた皆さんにも、多分のご迷惑をかけたが、ご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。このように多数の参加を頂いた事実は ひとえに、今回のテーマがいかにタイムリーであったか?! さらには、事前に石井先生の講演に興味をもって頂いた方が非常に大勢おられたことが、その理由なのかと推察しているところです。いずれにしても、セミナーが多数の参加者のもと、開催できたことは主催者としては、開催の意義があったと受け止めているところです。

話は変わりますが、これからの季節は、特に子牛の疾病発生が増加する時期かと思えます。伝え聞くところによりますと、へい獣処理される3ヵ月齢以下の牛の数は、12月～3月が特に多く、1月や2月は、夏場の2倍にもなると聞いております。

本日のセミナーの内容が酪農の現場で参考になり、実践されることで、へい獣処理される牛が1頭でも少なくなれば、本日のセミナーを開催した意義がさらに増したことになるのかと思えます。

繰り返しになりますが、講演いただいた石井先生、そして、本日のセミナー開催に当たりご理解と協力を頂いた、北根室協議会の構成団体である、3町、3JA の関係各位、並びに会場を借用した根釧農業試験場、本日多数出席頂いた、参加者の皆さんにも お礼を申し上げ閉会の挨拶といたします。本日は ありがとうございました。

